

AKAI
PROFESSIONAL

EWI5000

クイックスタート・ガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://ewi.akai-pro.jp/>

AKAI
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

クイックスタート・ガイド

はじめに

同梱物

- ・ EWI5000 本体
- ・ ワイヤレス受信機
- ・ USB ケーブル
- ・ USB パワーアダプタ
- ・ ネックストラップ
- ・ クリーニング・クロス
- ・ EWI5000 エディタ・ソフトウェア (ダウンロード)
- ・ Quickstart Guide (英文)
- ・ Safety and Warranty Manual (英文)

サポート

EWI5000 の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://ewi.akai-pro.jp/ewi5000/>

また、製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://ewi.akai-pro.jp/support/>

セットアップ

重要

EWI5000 を操作する前に、以下の点にご注意ください。

- **マウスピースを強い力で噛み過ぎないこと**：ビブラート・センサが壊れてしまう可能性があります。また、演奏後や本体を持ち運ぶ際は、必ずマウスピース・カバーを取り付け、マウスピース部分を保護してください。
- **演奏する際は、アース・プレートとオクターブ・ローラに必ず触れていてください**：これらのセンサは演奏者の体と接地している必要があります。
- **マウスピースは清潔に**：演奏の前後には、少し湿った清潔な布でマウスピースの表面を清掃してください。

1. EWI5000の電源について

EWI5000 は充電電池から電源を供給します。使用に際しては、以下の点にご注意ください。

- **充電電池の装着**：お手持ちのドライバを使用して、EWI5000 裏面下部（ヘッドフォン端子の下）にあるバッテリー蓋を開けて、付属の充電電池を装着し、蓋を閉じ固定します。
- **充電**：付属の USB ケーブルを使用して EWI5000 下部の USB 端子に接続し、**(a)** 付属の USB パワーアダプタを使い AC コンセントと接続する。または、**(b)** コンピュータと接続する。ことで電源を供給します。EWI5000 は USB ケーブルを経由して充電電池を充電しながらご使用いただけます。
- **充電電池の残量**：充電電池の残量を確認するには、**LEVEL ボタン**を押しながら **FX ボタン**を押します。ディスプレイに充電電池の残量（00～99）が表示されます。
- **充電電池残量の低下**：充電電池の残量が少なくなった場合、**PRESET LED**または **USER LED** が点滅し、充電を促します。
- **オート・パワーオフ**：約 **10 分間**操作しない場合に、自動的に電源がオフになります。但し、通常は、演奏後に電源スイッチを使って電源をオフにすることをお勧めします。

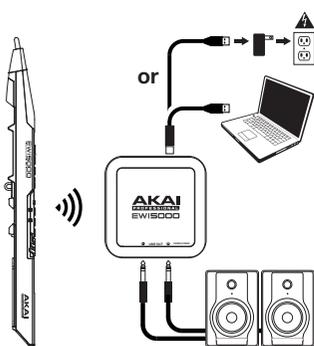
2. EW15000の持ち方

1. 本体のネックストラップ・クリップに、ネックストラップを確実に装着します。
2. ストラップを首にかけ、サクソフーンやクラリネット、リコーダを持つように身体の正面で垂直に持ちます。
3. 演奏の際は、左手の親指を本体背面のオクターブ・ローラに、右手の親指をピッチバンド・プレートの間にあるアース・プレートに置きます。



3. 接続

重要：EW15000 は、常に、LINE OUT 端子やヘッドフォン端子、またはワイヤレスで（ペアリングしている）受信機に、音声を同時に出力します。例えば、ワイヤレスで演奏している場合でもヘッドフォンでモニタリングすることが可能です。但し、コンピュータに接続して本体の電源がオフになっている場合（4 番目の接続例）では、コンピュータに MIDI メッセージが送られ、音声は出力されません。



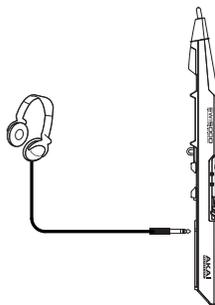
音声をワイヤレスで出力するには：

1. 付属の USB ケーブルをワイヤレス受信機に繋ぎ、それをコンピュータに接続するか付属の USB パワーアダプタを使って AC コンセントに接続すると、受信機の **PAIR LED** が点滅し、電源が入ります。
2. EW15000 の **電源ボタン** を押して、電源を入れます。BANK ボタンの隣の **PRESET LED** が点灯します。
3. EW15000 の **ワイヤレス・スイッチ** をオンにします。受信機とは自動的にペアリングされ、ペアリングが完了すると受信機の **PAIR LED** と EW15000 の **PRESET LED**（または **USER LED**）が点灯します。EW15000 の音声は、ワイヤレス受信機の LINE OUT から、また USB 端子経由でコンピュータに出力されます。
ヒント：受信機とのペアリングが解除されてしまった場合、受信機の **PAIR ボタン** を押してその後に EW15000 の **電源スイッチ** を一度押すことで、手動でペアリングを行えます。



外部のアンプやオーディオ・インターフェイスに接続するには：

1. 1/4" 標準 TRS ケーブルを使用して、EW15000 の **LINE OUT** 端子とキーボードアンプやオーディオ・インターフェイスなどのラインレベル入力端子を接続します。
重要：EW15000 の **ライン出力端子** は、TRS タイプのステレオ出力です。もし、接続先がモノラル端子の場合は、TRS ケーブルではなく TS ケーブルをお使いください。TRS ケーブルでモノラル端子と接続した場合、音声は正常に出力されませんのでご注意ください。
ヒント：ミキサやオーディオ・インターフェイスの 2 チャンネルを使用して、ステレオで接続する場合は、別途 **TRS - TS/TS の Y 字ケーブル** が必要です。
2. EW15000 の **電源ボタン** を押して、電源を入れます。
3. EW15000 の **ワイヤレス・スイッチ** をオフにします。

**ヘッドフォンで演奏するには：**

1. 1/8" ヘッドフォン端子にヘッドフォンを接続します。
2. EWI5000 の電源ボタンを押して、電源を入れます。
3. EWI5000 のワイヤレス・スイッチをオフにします。

**EWI5000 を USB - MIDI コントローラとして使用するには：**

1. EWI5000 の電源ボタンを 1 秒間押し続けて、電源をオフにします。
2. 付属の USB ケーブルを使用して、EWI5000 をコンピュータと接続します。
3. EWI5000 のワイヤレス・スイッチをオフにします。

4. 演奏

唇と歯の間でマウスピースを優しく挟み、口の両脇から息を漏らしながらゆっくり息を吐きます。EWI5000 のブレスセンサはこの息の強さを感じ、息の強さによって音量と音色を変化させます。

ヒント：

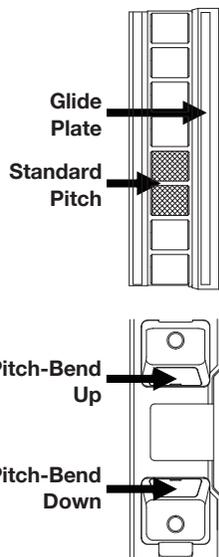
- マウスピースには、マウスピースを噛んだ強さに反応するバイト・センサが搭載されています。マウスピースを優しく噛むと、ビブラート効果がかかります。噛み続けるのではなく軽く何度も噛むことで効果が生じます。強く噛みすぎるとマウスピースやセンサを痛める可能性がありますのでご注意ください。
- 口の両脇から息を抜きながら、口で「トゥットゥットゥ」とか「トゥクトゥク」と吹くことによって、いわゆるタンギングを行うことができます。
- EWI5000 は、プレーヤーの身体の静電容量によって動作するため、乾いた手で操作した場合などに、ノート・キーやオクターブ・ローラ、ピッチベンド・プレート、グライド・プレートなどの反応が悪くなることがあります。そのような際には、少量のノンオイルタイプのハンドクリームなどを手に塗ってお試してください。

ノート・キー：管楽器のキーとは異なりセンサになっていますので、軽く指でキーに触れるだけでその音を出すことができます。EWI5000 には複数の運指モードが搭載されていますので、初心者の方でも管楽器経験者にも慣れた指使いですぐに演奏できます。また、最下段の三つのキーは、手の大きさに合わせて、上部のネジを緩めて向きを調整することができます。

オクターブ・ローラ：ローラとローラの間左手の親指を置き、二つのローラに常に触れている状態で使用し、親指を上下することでオクターブ・レンジを上下にシフトします。基本ポジションは、ローラにギザギザが付いている位置になります。

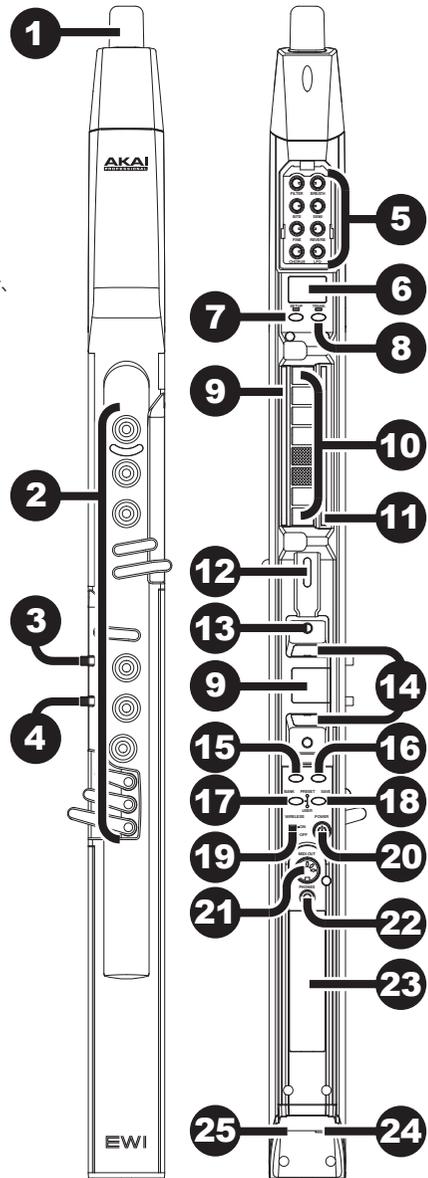
グライド・プレート：左手の親指をこのグライド・プレートに触れながら、オクターブ・ローラで音程を変えると、グライド効果（ポルタメント：音程を滑らかに上げ下げすること）を得ることができます。

ピッチベンド・プレート：ベンド・アップ / ダウン・プレートに右手の親指を触れることで、ピッチベンド効果（音程のアップ・ダウン）を得ることができます。ベンドに慣れるまでは、無意識にこのプレートに触れてしまうことがありますので、ご注意ください。ベンド・プレートはネジを緩めて位置を調整することができます。



各部の機能

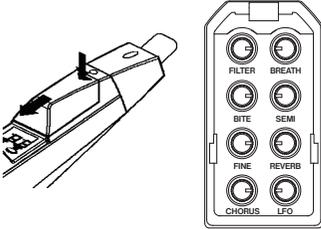
1. **マウスピース**：管楽器のように、唇と歯の間で優しく挟みます。息を吹きながらマウスピースを噛むことでビブラート効果を得られます。但し、強く噛み締めないでください。
2. **ノート・キー**：音程を決めるためのキーです。下の三つのキーは上部のネジを緩めて向きを調整することができます。
3. **ホールド・ボタン**：このボタンを押すことでホールド・モードに入ります。初期設定はレガート (LE) で、最初のノートを維持したまま別のノートを重ねて演奏することができます。またセットアップ・モードではメニューを選ぶ際にも使用します。
4. **インターバル・ボタン**：このボタンを押すことでインターバル・モードに入ります。初期設定は固定 (Fd) で、演奏しているノートの1オクターブ下の音を重ねて演奏することができます。またセットアップ・モードではメニューを選ぶ際にも使用します。
5. **パラメータ・ノブ**：これら八つのノブで、プログラムや EWI5000 本体の基本的な設定を調整します。後述のサウンド&センサ調整をご参照ください。
6. **ディスプレイ**：プログラム・ナンバや設定値を表示します。
7. **SETUP (セットアップ)・ボタン**：このボタンを押し続けることで、セットアップ・モードに入り、LED が点灯します。後述のセットアップ・モードをご参照ください。
8. **TRANS (トランスポーズ) ボタン**：このボタンを押すことで、トランスポーズ機能のオン・オフを切り替えます。トランスポーズがオンになっている場合、LED が点灯します。このボタンを押しながら、ホールド・ボタンまたはインターバル・ボタンを押すことで値を変更できます。また、このボタンを押しながら、パラメータ・ノブを回すことで、ノブの副機能にアクセスできます。
9. **アース・プレート**：タッチセンサを正しく動作させるために、これら二箇所のアース・プレートのどちらかに常に触れている必要があります。
10. **オクターブ・ローラ**：演奏するオクターブ (音程) を決めるためのセンサです。演奏中は常に触れている必要があります。



11. **グライド・プレート**：このセンサに触れながら演奏すると、グライド効果を（ポルタメント：音程を滑らかに上げ下げすること）得ることができます。
12. **ネックストラップ・クリップ**：付属のネックストラップをここに装着します。
13. **プログラム・ボタン**：ノート・キーに触れない状態でこのボタンに触れると、現在のプログラム・ナンバが表示されます。この時に、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押すことでプログラムを変更できます。
14. **ピッチベンド・プレート**：演奏している際に、上下のピッチベンド・プレートに触れることでピッチベンド効果（音程のアップ・ダウン）を得ることができます。これらはネジを緩めて位置を調整することができます。
15. **FX（エフェクト）ボタン**：このボタンを押しながら、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押すことで、三つのエフェクト（リバープ（rb）、コーラス（ch）、ディレイ（dL））を選択できます。その後、**FX ボタン**を離し、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押すことで、選択したエフェクトのレベルを変更できます。
16. **LEVEL（レベル）ボタン**：このボタンを押している間、現在のマスタレベルの設定値が表示され、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押すことで、レベルを変更できます。
17. **BANK（バンク）ボタン**：このボタンを押すことで、**プリセット・バンク**のプログラムと**ユーザ・バンク**のプログラムを切り替えます。
18. **SAVE（セーブ）ボタン**：このボタンを押すことで、セーブ・モードに入り、保存先のユーザ・バンクのプログラム・ナンバが表示（点滅）され、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押すことで、保存先のプログラムを変更できます。その後、もう一度、**セーブ・ボタン**を押すことで保存されます。他のボタンを押すと保存をキャンセルできます。
19. **WIRELESS（ワイヤレス）スイッチ**：ワイヤレス出力のオン・オフを切り替えます。ワイヤレスをオンにするには、まず受信機を USB ケーブルを接続して電源を入れます。受信機の **LED** が点滅状態になるので、EWI5000 の電源を入れ、**ワイヤレス・スイッチ**をオンにします。受信機とのペアリングが自動的に行われ、ペアリングが完了すると受信機の LED と EWI5000 の **PRESET LED**（または **USER LED**）が点灯します。
ヒント：受信機とのペアリングが解除されてしまった場合、受信機の **PAIR ボタン**を押してその後 EWI5000 の **電源スイッチ**を一度押すことで、手動でペアリングを行えます。
20. **電源スイッチ**：このボタンを 1 秒間押し続けることで、EWI5000 の電源のオン・オフを切り替えます。
21. **MIDI OUT 端子**：標準的な 5 ピンの MIDI ケーブルを使用して、外部音源モジュールなどに接続し、EWI5000 を MIDI コントローラとしてお使いいただけます。
22. **PHONES（ヘッドフォン）端子**：ヘッドフォンを接続します。
23. **バッテリー蓋**：お手持ちの+ドライバーを使用して、この蓋を取り外し、付属の充電電池をセットし、再度蓋を閉じ固定します。
24. **LINE OUT 端子**：標準的な 1/4" TRS ケーブルを使用して、キーボードアンプやオーディオ・インターフェイス、ミキサなどに接続します。
重要：EWI5000 のライン出力端子は、TRS タイプのステレオ出力です。もし、接続先がモノラル端子の場合は、TRS ケーブルではなく TS ケーブルをお使いください。TRS ケーブルでモノラル端子と接続した場合、音声は正常に出力されませんのでご注意ください。
25. **USB 端子**：標準的な USB ケーブルを使用して、コンピュータと接続します。この USB 端子を通じて、内蔵充電電池の充電と MIDI 信号のやり取りを行います。

各種設定

サウンド&センサ調整



EWI5000 のサウンドの調整は、(a) 付属のサウンド・エディタ・ソフトウェアで行うか、(b) EWI5000 本体の八つのパラメータ・ノブを使って行います（ディスプレイの上のカバーを取り外すとノブが現れます）。

以下の通り、これら八つのノブで、プログラムや EWI5000 本体の基本的な設定を調整します。

Fine を除く各ノブには、主機能と副機能が割り当てられています。単にそのノブを回すことで主機能にアクセスでき、**TRANS ボタン**を押しながらそのノブを回すことで副機能にアクセスできます。

- FILTER** 主：プログラムのフィルタ・カットオフ周波数を調整します。
副：プログラムのフィルタ・レゾナンスを調整します。
- BREATH** 主：EWI5000 のプレス・センサのオフセット（どのくらいの息量で音が鳴り始めるか）を調整します。
副：EWI5000 のプレス・センサのゲイン（演奏の強弱：この値が高いと、ダイナミクスレンジは減少します）を調整します。
- BITE** 主：EWI5000 のバイト・センサの感度（どのくらい噛むとサウンドに効果が出るか）を調整します。
副：プログラムのディレイ・エフェクトのかかり具合を調整します。
- SEMI** 主：EWI5000 のチューニング（半音ずつ）を調整します。
副：プログラムのディレイ・エフェクトのディレイ・タイムを調整します。
- FINE** 主：EWI5000 のチューニング（微調整）を行います。
副：割り当てなし
- REVERB** 主：プログラムのリバーブ・エフェクトのかかり具合を調整します。
副：プログラムのリバーブ・エフェクトのルーム・サイズを調整します。
- CHORUS** 主：プログラムのコーラス・エフェクトのかかり具合を調整します。
副：プログラムのコーラス・エフェクトのデプスを調整します。
- LFO** 主：プログラムのモジュレーション（CC#1）のかかり具合を調整します。
副：プログラムのモジュレーションの LFO の周波数を調整します。

調整が終わりましたら**セーブ・ボタン**を押して、プログラムに設定を保存します。

重要：保存の際には、現在選択されているプログラムに関する設定のみが保存されます。EWI5000 本体の設定は、センサやチューニングに関連しますのですべてのプログラムに適用されます。

セットアップ・モード

EWI5000 のさまざまな設定は最適化されて出荷されていますが、ご自身の演奏スタイルなどに合わせて変更することができます。

セットアップ・モードで各設定を変更するには：

1. **セットアップ・ボタン**を押し続け、セットアップ・モードに入ります。
2. **ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押すことで、以下の設定項目を切り替えます。

CH MIDI Channel	In Interval	PU Pitch Up
dL Note Delay	bS Breath Sensor	Pd Pitch Down
Fn Fingering	bt Bite Sensor	PC Program Chang
Ho Hold	GL Glide	CL Sensor Calibration

設定項目を選択しましたら、セットアップ・ボタンを離します（ディスプレイにドットが表示される場合は、そのパラメータや機能がアクティブになっていることを示します）。
3. **ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**を押して、設定やパラメータを変更します。
重要：もし **TRANS ボタン**が点滅する場合、その項目にサブメニューがあることを示しています。サブメニューにアクセスするには、**TRANS ボタン**を押し、**ホールド・ボタン**または**インターバル・ボタン**でサブメニューの値を変更します。**セットアップ・ボタン**を押すと、上の階層メニューに戻ります。
4. 設定が終わりましたら、**セットアップ・ボタン**を押します。EWI5000 はパフォーマンス・モードに戻ります（もしサブメニューの階層にいた場合は、**セットアップ・ボタン**を複数回押してパフォーマンス・モードに戻ります）。

演奏を始めるにあたって、運指「**Fingering (Fn)**」を設定しましょう。EWI5000 には六つの運指モードがあります。

Fingering (Fn)

EI EWI スタンダード	EWI5000 の標準運指です。一般的な木管楽器に準拠しています。
SA サキソフォン	サクソフンの運指に準拠しています。このモードでは、発音している高音より下に置かれた指は無視されます。
FL フルート	標準的な C キーのフルートの運指に準拠していますが、フルート奏者はいくつかの新しい運指に慣れる必要があります。
Ob オーボエ	標準的なオーボエの運指に準拠しています。
Eu EWI スタンダード	金管楽器をベースにした EWI (Electric Valve Instrument) の運指モードです。金管楽器奏者は馴染みやすいかもしれません。
Er EWI 反転オクターブ・ローラ	実際の EWI の左手の動きに非常に近い運指モードです。EVI に慣れ親しんだ方にお勧めします。

重要：セットアップ・モードの各設定の詳細につきましては、後日公開のユーザ・ガイドをご参照ください。

工場出荷時の設定に初期化する

EWI5000 の設定を出荷時の状態に初期化するには：

1. EWI5000 をコンピュータと接続している場合には、接続を解除します。
2. 電源ボタンを 1 秒間押し続け、EWI5000 の電源をオフにします。
3. **セットアップ・ボタン**、**TRANS ボタン**、**FX ボタン**、**LEVEL ボタン**の四つのボタンを押します。
4. 上の四つのボタンを押したまま**電源ボタン**を 1 秒間押し続け、EWI5000 の電源をオンにします。
5. すべてのボタンを離します。この操作で設定は初期化されます。

付録

仕様

マウスピース：	エア・プレッシャ・レベル・センサ、バイト・センサ
ノート・キー：	タッチセンサ x 13
コントロール：	パラメータ・ノブ x 8
オクターブ・ローラ：	可動タッチセンサ x 6、固定タッチセンサ x 2 (8 オクターブ)
プレート：	ピッチバンド x 2、グラウンド x 2
入出力：	USB 端子、5 ピン MIDI 出力端子、1/4" TRS ステレオ・ライン出力端子、1/8" TRS ヘッドフォン端子
MIDI：	USB - MIDI、5 ピン MIDI 出力
ワイヤレス：	2.4GHz ステレオ・ワイヤレス
電源：	リチウムイオン充電電池
サウンドライブラリ：	SONiVOX 製 3GB 高品位ライブラリ
サイズ (W x D x H)：	約 61 x 676 x 43mm (EWI5000 本体)、約 61 x 122 x 91mm (ワイヤレス・レシーバ)
重量：	約 900g (EWI5000 本体)、約 130g (ワイヤレス・レシーバ)

商標およびライセンス

AKAI professional および EWI は inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

AKAI
PROFESSIONAL

akai-pro.jp